

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月17日

事業所名 療育ケアMARINE RAINBOW 久留米高校前

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|---|----|-----|---------------------------|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | 1 | | ・現状の利用人数であれば問題ない。 |
| | 2 職員の配置数は適切である | 1 | 6 | | ・送迎の人数なども含めたら増員が必要と思う。一配置上は問題ないが、入ってくる報酬に限りがあるため、できる範囲で支援の質の観点から職員を増やせるように努めていく。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 1 | 6 | | ・構造化は簡易的にしか行われておらず、児童が現在の状況に慣れていつている様子。→開所したばかりのため、今後できる限り工夫していく。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 2 | 5 | | ・清掃をもう少し細かくしていくよと思う。構造化はスペース的に難しいかと思う。→職員間で当番制にする等、今まで以上に清掃をこまめに行う。面積上は問題ないため、限られた空間を有効活用していく。 |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 1 | 6 | | ・振り返りの時間があまりなく、職員も限定的となってしまう。→今後、全体会議の時間をもう少し設けていく。 |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 2 | 5 | | ・開所したばかりで現状は評価面をまとめている段階だと思うので、いいえとしている。 |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 2 | 5 | | ・自己評価の結果については開所したばかりで今回がはじめてのため、今後、ホームページにて掲載していく。 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 5 | 2 | | |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 1 | 6 | ・必要に応じて研修を実施している。 | ・研修や勉強会はあまり開催できていない →研修の機会を設けているが、今後は必要に応じて回数を増やせるように努めていきたい。 |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 7 | 0 | | |
| | 11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | 2 | | ・より詳細に個別化を図るために改善する必要あり。→必要に応じて改善していく。 |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 5 | 2 | | |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 6 | 1 | | |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | 1 | 6 | ・現在は専門職員で行っている。 | |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 5 | 2 | | |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 6 | 1 | ・個々に個別・集団の利用目的を判断して行っている。 | |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | 2 | | ・職員間での打ち合わせは不十分かと思う。・できている日とそうでない日がある。→管理者を中心に職員間の情報共有を徹底できるように工夫していく。 |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5 | 2 | | ・職員間での打ち合わせは不十分かと思う。・非常勤で終業時までいないため分からない。→管理者を中心に、常勤・非常勤問わず必要な情報共有ができるように改善していく。 |
| | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | 2 | | ・記録は取っているが、支援の検証・改善につなげることはあまり出来ていないと感じる。→支援の検証・改善につなげられるよう話し合いを行う時間をさらに設けていく。 |
| 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 6 | 1 | | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------------------|----|--|----|-----|----------------------|---|
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 5 | 2 | | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 6 | 1 | | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | | | ・現状、該当児童がいない。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | | | ・現状、該当児童がいない。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 6 | 1 | | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 5 | 2 | | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 2 | 5 | ・申し送りは電話で受ける対応をしている。 | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 5 | 2 | | |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している | 1 | 6 | | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | 1 | ・療育後は保護者様へ連絡をしている。 | ・送迎でお会いできる保護者様とは共有できているが、保育園等へのお送りではできていない時がある。→情報共有の時間を設けられるよう工夫をする。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 2 | 5 | | |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | 1 | | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 7 | 0 | | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 2 | 5 | | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 7 | 0 | | |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 2 | 5 | ・管理者が対応している。 | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 2 | 5 | | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 7 | 0 | | |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | 1 | 配慮している。 | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 0 | 7 | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|---------|--------|--|-----|---------|---|--|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 5 | 2 | 事業所にマニュアルを備えている。また、訓練については必要に応じて実施している。 | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | 1 | ・年に2回、避難訓練を実施している。 | ・避難訓練について職員全体で周回する必要があると思う。→年2回、訓練を実施しているが、常勤・非常勤問わず全職員が参加できるように促していく。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 5 | 2 | ・必要な場合、契約時に事業所所定の様式に記載いただくようにしている。 | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 6 | 1 | ・保護者様よりアレルギーに関する説明書を記載いただいている。 | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 1 | 6 | | ・新規開設事業所のため、現在、事例を収集中。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 7 | 0 | ・虐待防止委員会の設置・研修等を実施している。 | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 6 | 1 | ・契約時にご説明をするようにしている。 | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。